

事業者向け 児童発達支援自己評価表

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			一人あたり16平米以上を確保し、個室での個別療育を行なっています。集団療育の場合でも1名あたり4平米以上を確保しています。
	2 職員配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			常勤で4名の保育士・児童指導員・指導員、児童発達支援管理責任者(以下、児発管)1名を配置しています。場合に応じてパート職員がサポートに入ります。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境 1になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			療育室はお子さんの状況/ニーズに応じて環境調整しています。また、お子さんの担当者/個別療育の部屋が本人にわかるよう、視覚的配慮と構造化を行なっています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	<input type="radio"/>			清潔で心地よく過ごせる環境にしています。また、お子さん一人ひとりの発達段階に応じた教材/環境等を用意できるよう、職員間/保護者の皆様と相談の上、空間を調整しています。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			常勤職員全員とパート職員が参加し、月に2回業務改善の会議を行っています。計画(Plan)実行(Do)チェック(Check)改善(Action)を行なっています。臨時の会議は必要な際に都度実施しています。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			保護者様向け評価表より、支援計画や緊急時の避難計画についてご指摘をいただいたため、支援計画の再提示、緊急時の避難マップ作成等の改善を行なっています。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			HPにて公表しています。4月以降に通い始められた新規のご利用者様には1~3ヶ月程度を目安に評価表の記入をお願いし、都度更新していく予定です。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			第三者評価による外部評価実施については今後検討/実施にあります。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			週に1度、金曜日の13:20~14:30(70分間程度)を研修の時間とし、早期療育/発達障がい/知的障がい/ABAを始めとする様々な支援方法等についての研修を行なっています。外部講師として、障害者支援センターきりり様による内部研修を3回、また、外部の研修に積極的に参加できるように職員間の勤務調整をしています(外部研修参加人数実績述べ20名)。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>			心理検査の実施とお子さんの「育ち」について保護者様への聞き取りを生まれる前から現在に至るまで行っています。現在のニーズをお伺いし、支援計画を立てます。
	11 子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>			ガイドライン記載の「適応行動尺度Vineland-2」は32名の利用者様のうち30名に実施し、半年ごとに再度検査しています。また、感覚の過敏性や鈍麻性をお持ちのお子様の場合は「感覚プロフィール」を実施し、感覚のニーズを客観的に把握しています。(32名中7名)
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	<input type="radio"/>			児童発達支援計画では、心理検査・(療育を通じての)お子様の様子・保護者様からの聞き取りの3つを軸に、左記の内容検討し、支援内容を記載しています。また、別に、個別療育時の目標を設定し、療育の都度「支援の量」を細かく調整しています。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	<input type="radio"/>			児童発達支援計画に沿った支援を行うために、さらに細かな療育目標を設定し、「目標の設定」から「実施」「振り返り」までを毎回行なっています。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			活動プログラムの立案・検討を行うために、毎週の研修やケース会議、3ヶ月間の中間報告を常勤職員全員で行なっています。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			お子さんの発達段階を心理アセスメントで把握し、状況に応じてプログラムの内容を変更/調整しています。また、同じ教材であっても、提示の仕方を変えることで固定化しないよう研修を行なっています。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>			基本的には個別療育のみを行なっていますが、お子さんの状況、保護者様のご要望に応じて集団活動(集団療育)を行なっています。ただ、多くの場合は個別療育を重視し、集団に入る前の素地づくりを大切にしています。
17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>			毎朝のミーティングでは担当の確認、相談/心理検査等の有無を確認し、職員それぞれが自身の役割を適切に果たせるよう確認しています。	

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	18 支援終了後は、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後は個別療育の振り返りを必ず行い、記録をします。全体で共有すべき内容については夕方のミーティングで共有し、誰がどのように動くかについて検討、方針を決定します。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎回の療育終了後、現在のお子様の目標確認と振り返りを必ず行います。また、当日を含めたおおよそ1ヶ月分の記録を見返し、支援につなげます。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			お子様の発達の状況を3ヶ月ごとの「中間報告」にて全職員で振り返っています。中間報告は常勤職員全員で毎月1回行い、児童発達支援計画の見直しに活用しています。
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか		○		サービス担当者会議にはできる限り担当者が参加するようにしていますが、どうしても参加ができないことがあります。その際には、心理検査、日々の療育記録等を担当者や児発管とで共有し、児発管サービス担当者会議にふさわしい状態で臨むようにしています。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			保健センター様…お子様と保護者様の困り感、必要な支援についての共有をしています。 障害者支援センター「きらり」様…保護者様向けの勉強会の実施を企画し、10名以上の保護者様にご参加いただきました。 子育て支援センター様…月に1度ずつ静岡中央/清水中央子育て支援センター様にて弊所代表が講座を担当させていただき、発達に関する情報提供やサポートの方法についてお知らせしています。また、服織/興津子育て支援センター様でも数回実施予定です。 歯科検診…定期的な歯科検診実施の第一歩として集団健診をお願いしています。今年度は6月19日9:30より実施予定です。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○		医療的ケアを常に必要とするお子さんの在籍がありません。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○		医療的ケアを常に必要とするお子さんの在籍がありません。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			現在、病院保育所、こども園、幼稚園、児童発達支援施設、公立小学校との情報交換/共有をしています。 (述べ15の病院/園/事業所/施設/学校様)
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			保護者様を通じて、心理検査や支援時の目標/様子についての情報提供を行っています。保護者様のご要望に応じて小学校へ訪問予定です。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			障害者支援センター「きらり」様…3回の内部研修を実施していただきました。今年度も実施予定です。 複数ご利用のある児童発達支援施設様や相談支援事業所様と連携し、支援の方針やお子様の状況について共有し、助言等頂いています。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		園との交流は現在のところ実績がございませんが、弊所での交流会はこれまで度々実施しております。その際に様々な境遇のお子様の交流がありました。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			弊所より代表含む2名が子育て支援連絡会へ在籍し、子育て支援に関する情報の収集/ご家庭への情報提供を行えるようにしています。また、個人で「健康福祉審議会児童福祉専門分科会」へ参画している職員がいます。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○		母(保)子同室での個別療育(もしくは様子をiPadで視聴できる環境)にすることで保護者様がお子さんの状況把握をできる限りできるようにしています。課題については個別の支援計画のご相談や心理計画実施の都度お伝えするようにしていますが、十分な時間を取ることができないことがあるため、今年度中に改善して参ります。
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	○			9月開所時より、毎週火曜日11:15-12:00を「クローバーの日」子育て支援の時間と位置付け、月に2回「お子さんへのサポートスキル講座(親カフェ)」を実施してきました(14回実施終了)今年度はより多くの保護者様に参加していただくための企画を再度検討しています。

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			ご契約時に「重要事項説明」と「ご契約書」にて説明を行なっています。
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			児童発達支援計画を作成後、説明を行なっています。しかし、お子さんのニーズを把握し、最適な支援計画を作成するためにお時間をいただいでしまうケースがあります。改善し、早急に同意いただけるようにいたします。
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			日々ご利用いただく中でお悩みの共有や課題の解決、助言/支援等行えるようにしています。(例: サポートに関する情報提供等、支援センターのご紹介、相談支援事業所のご紹介、他児童発達支援施設のご紹介)
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		保護者会等の開催には至っていませんが、上記記載の「クローバーの日」の実施によって保護者様の交流を一部支援することができたと考えます。(延参加人数40名(重複あり))
	36 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○		苦情という苦情をいただいたことがございませんが、ございました場合迅速に対応させていただきます。
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		実施予定の活動/イベント内容については入り口付近に日付と共に掲示していますが、わかりづらく不便であるため改善いたします。また、会報誌については12月までは発行していましたが、停止してしまっています。HP等を活用し発信できるようにしていきます。
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			十分注意しています。
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			療育の中で職員がお子様の意思を最大限汲み取ることが前提ですが、意思疎通を円滑にするために保護者様からお子様の想いを伺い代弁していただくことがあります。また、お子様に応じて写真/絵カードを活用することもあります。
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			12月にクリスマスマルシェ(他団体様との共催)を開催しましたが、「地域に開かれた事業運営」としてどこまでオープンにするかという難しさを感じています。
非常時などの対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		○		11月に常勤職員全員での避難訓練を実施しています。また、近隣のこども園(避難場所)とも緊急時の対応を協議しています。しかし、上記に関して保護者様への周知が不十分であったと感じたため改善します。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			11月/6月に避難訓練を実施します。また、消防計画を策定しています。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			ご契約時/初回面談時に病気等について確認しています。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			おやつ等の食事は提供していませんが、心理検査(ADOS-2のみ)実施時にアレルギーについて伺い、適切な対応をしています。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		ヒヤリハットの共有を密にしていますが、事例集については作成中です。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			適切な対応をしています。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○		まだ左記のケースがありません。身体拘束が必要なお子さんの状況等に応じて組織的に決定し、支援計画に記載いたします。